

沖縄県

歯科医師会誌

The Journal of the Okinawa Dental Association

2025.August Vol 3



Topics

★就任・退任の挨拶

★受章おめでとうございます

旭日双光章受章

瑞宝双光章受章

★令和7年度 定時代議員会報告

★デンタルフェア

★38期1年生宿泊研修に行ってきました

★新入生歓迎球技大会を終えて

★会員投稿 私の診療所作り Part2

医療法人 長浜歯科医院 長 濱 正

い歯科医院 玉 城 英 人

調査広報理事 平 良 和 枝

宮古地区・八重山地区・北部地区・中部地区・南部地区

38期生 大 城 夏 海

沖縄歯科衛生士学校 教務課 稲 嶺 直 子

(医) 香優会 比嘉歯科医院 比 嘉 良 喬



(一社)沖縄県歯科医師会

表紙写真

「果報バンタ(カフウバンタ)」

撮 影 者

島 袋 亮

裏表紙

令和7年度歯・口の健康に関する
図画・ポスターコンクール最優秀賞・優秀賞作品

content

□就任の挨拶	3
□退任の挨拶	9
● 県歯報告 ●	
・ 令和7年度 定時代議員会報告	調査広報理事 平 良 和 枝 …11
□受章おめでとうございます	
・ 旭日双光章受章	医療法人 長浜歯科医院 長 濱 正 …13
・ 瑞宝双光章受章	い歯科医 玉 城 英 人 …14
□デンタルフェア	
・ デンタルフェア八重山	すながわ歯科 砂 川 明 穂 …15
・ デンタルフェア宮古	宮古地区歯科医師会 波 平 篤 樹 …17
・ デンタルフェア北部	北部地区歯科医師会デンタルフェア実行委員長 神 元 龍 一 …18
・ デンタルフェア中部	野原歯科医院 野 原 昭 彦 …19
・ デンタルフェア南部	健康づくり推進対策委員会 高 良 正一郎 …20
□38期1年生宿泊研修に行ってきました	38期生 大 城 夏 海 …22
□新入生歓迎球技大会を終えて	沖縄歯科衛生士学校 教務課 稲 嶺 直 子 …23
● 県内報告 ●	
・ 沖縄こどもの未来県民会議 令和7年度総会	学校歯科理事 玉 城 齊 …24
□会員投稿 私の診療所作り Part2	(医) 香優会 比嘉歯科医院 比 嘉 良 喬 …25
□会員プロフィール	26
□新聞コラム	28
□理事会報告	37
□編集後記	44
□8020達成者認定証の発行について	45
□会員動向	47
□国保だより	48

就任の挨拶



会 長（調査広報担当） 米 須 敦 子

このたび、引き続き沖縄県歯科医師会会長を拝命することとなりました。

3期目という重責をお引き受けするにあたり身の引き締まる思いとともにこれまで温かく支えてくださった皆さまのご支援とご信頼に心より感謝申し上げます。

当会は1920年の創立以来、幾多の困難を乗り越えながら地域の口腔医療を支えてまいりました。障害者歯科治療も本年で50周年を迎え、先人たちが築き上げてこられた誇り高い歴史と精神を次世代へとしっかり継承していく所存です。

今期の重点課題として、第一に「未入会者対策」を掲げております。特に若手歯科医師への積極的なアプローチを通じて、組織力の強化と持続的な発展を目指してまいります。

第二に歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の人材育成と確保が大きな課題です。これまでも県行政や県議会への要請を行い取り組んでまいりましたが、今年度はさらに具体的かつ実効性のある施策を進めていく予定です。

また、各委員会と連携し「歯科衛生士学校」では国家試験合格率の向上と人材確保「口腔保健医療センター」では協力医体制の充実および運営の強化に注力しております。加えて、企業健診や多職種連携を含む公益活動の推進にも力を入れてまいります。

ODAの解散に伴う事業継続につきましては、会員の皆さまへの還元を第一に考え、他県の事例も参考にしながら、本県に適した安全性と還元性を兼ね備えた方針を理事会にて協議・決定しております。

さらに、私自身が調査広報担当を兼務し、情報の正確かつ迅速な発信とデジタル時代に即した広報体制の再構築にも積極的に取り組んでまいります。

今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



副会長・専務理事 渡慶次 彰

この度、副会長兼専務理事に就任しました中部地区会員の渡慶次彰です。

前執行部では、副会長兼口腔保健医療センター担当理事として会務運営を執行させていただき、御礼申し上げます。昨年度は、常勤歯科麻酔医と常勤歯科医師（治療医）が不在で非常勤の先生方、センター運営委員やセンター協力医により患者がふえる中、センター診療を維持することができ大変感謝しております。4月から常勤歯科麻酔医兼治療医として木村 楽先生がセンター部長に就任されました。今後に期待しているところです。

会員の高齢化、新入会員入会促進、会員への各委員会活動内容の周知、歯科衛生士や歯科技工士の人材育成、医院継承等多くの課題がありますが、今後2年間は、重責を担う役職に就きましたので、沖縄県歯科医師会会員のため、米須会長を支え本会の発展を目指し会務に取り組む所存です。

ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



常務理事（財務厚生・口腔保健医療センター担当） 比 嘉 良 喬

今年古希を迎え、（一社）沖縄県歯科医師会へのご奉公として2017年6月以来の現場復帰、又2000年以来の財務担当理事として2年間務めさせていただきます。

財務を受けた当時は、公益法人会計に移行していた時期で色々勉強をさせていただきました。その後新公益法人へと移行し、事業項目ごとに分類されてきましたので再度勉強し直しになります。まずは凝り固まった頭を柔軟にさせながら、しっかりとした財務を行っていく所存です。

また兼任でセンター運営委員会を受け持つことになりました、センターについては補助事業がありますので、粘り強く行政と協議しながら沖縄県における障害者への治療をより安全で安心して受診できる体制を構築していきたいと考えています。

9月9日が障害者歯科治療を開始して50年の年でもあります。歯科医師会が全身麻酔治療による治療を単独で行っている県がゼロの時代から、今日まで多くの先輩達の熱意をもって現在の沖縄県口腔保健センターができました。財務を担当していますのでセンターを更に安定した経営基盤になるよう頑張らせて頂きますので応援を宜しくお願いいたします。



常務理事（歯科衛生士学校担当） 中 地 昭 雄

この度、前期に引き続き歯科衛生士学校の理事を拝任いたしました。この数年で時代の変化が押し寄せ、学校としても様々な変化に対応することが必要となっております。特に、会員の皆様により多くの国家資格を得た人材を送り出すために「国家試験対策の見直し」や「学生の確保」等、運営委員会と学校職員一同協力し合って対策を練って参りましたが、少子化や国家試験の難易度が高まっている現状に対応すべく、継続して取り組んで参ります。会員の皆様のご助力のもと、今年度は多くの新入生を迎えることができました。また、多くの先生方に講師や臨床実習の受け入れを引き受けてくださり他校からみても充実したカリキュラムを実施できていることも併せて心より感謝申し上げます。

ここ数年は、国家試験合格率100%を目指して、最優先の課題として取り組んでいるところです、カリキュラムの見直しや、就職説明会の前倒しによる、国家試験対策を早期に開始するなど対策を進めています。

その他にも、校舎の老朽化や学生の管理、職員の労働環境の整備等も課題は山積みですが、より良い学校運営を達成できるよう微力ながら皆と連携を図り努めていく所存です。

今後も、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



常務理事（医療管理・医業経営担当） 邊土名 朝 憲

この度、前期に引き続き医療管理、医業経営理事を拝命することになりました中部地区の邊土名朝憲です。前回で理事退任予定でしたが、当委員会では以下の問題山積の為、職務継続を努めて参ります。1. 患者クレーム、相談、会員からの相談も弁護士介入の案件の増加。2. 会員への情報提供（患者トラブル、医療事故等）を行いたいが、個人情報等もありどのような手段で提供するか。3. 又吉達雄先生、饒波正太郎先生、高嶺明彦先生を中心に設立されたODAの今季解散による保険業務を含めた種々の事案の障害が起こらないような業務移行。この場をお借りしてODA設立、これまでの業務に関係された先生には重ね重ね御礼申し上げます。4. 相談引き受けの電話担当委員の育成。5. 今後増化する医院承継問題対応。6. スタッフからの相談対応含めた人材育成、経営等々。7. 災害時の国、県との歯科医師会としての連携。8. 増加傾向の独居人死亡時の含めた身元不明者確認業務、等々多岐にわたる分野の委員会です。

会員の為に努める所存です。色々複雑な問題も多い故、皆さまのお知恵、お力を賜り、ご指導とご鞭撻の程よろしくお願いします。



地域保健担当理事 屋 嘉 智 彦

この度、3期目となる米須執行部において、引き続き地域保健担当理事をさせていただくことになりました南部地区会員の屋嘉智彦です。宜しくお願いいたします。

本執行部においても、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組の推進、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携の強化に取り組むと共に、多職種連携の強化、介護・訪問歯科診療の促進に努めてまいります。

加えて、事業所への健康経営の啓発・促進、有害な業務に係る歯科健康診断（歯科特殊健診）事業の整備も、健診担当医の育成やシステム作りという大きな課題に向かって会務を進めてまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



学校歯科担当理事 玉 城 斉

この度、五期目の学校歯科担当理事を務めさせて頂くことになりました。

前期は、学校歯科医の待遇改善に努めてまいりました。令和6年度より、県立学校における一人当たりの健診料が400円から600円に値上げされ、それに伴い中部地区でも今年度より、各市町村の健診料が600円に値上げ、さらに帯同費の付与がなされた自治体もあります。

沖縄県歯科医師会会員において、閉院が令和6年度20件あり、令和5年度の4件に対し、5倍の閉院数でした。それに伴い、学校歯科医を退く先生方も出てきました。

学校歯科における一番の課題は、学校歯科医数の減少で、閉院されても学校歯科を続けて頂く為、今期も待遇改善に努めたいと考えています。

沖縄県の12歳児のむし歯本数（DMF歯数）が、毎年全国最下位（令和6年度沖縄県：1.4本・全国平均：0.53本）である事も課題です。

この課題に対し、フッ化物洗口実施小学校も徐々に増えつつあり、学校歯科委員会でも協力体制に向け、取り組んでおります。

歯と口の健康週間、各小学校で開催される「全国小学生歯みがき大会」の本県参加校も年々増えつつあります。一昨年114校、去年126校、今年は139校（参加率52.9%）で、過去最高の参加校でした。

今後も、教育委員会そして学校現場と密に連携して、全県的な歯科保健活動の充実を計りつつ、最下位脱出を目指したいと思います。

まだまだ力不足な点多々ありますが、会員の皆様のご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。



社会保険担当理事 上 原 泰 通

社保委員を24年間務めてきましたが、今回外間理事から社会保険担当理事を引き継ぐことになりました。

歯科医療をとりまく社会保険の環境は少子高齢化、歯科疾患の罹患状況の変化、働き方改革など、様々な要因によって大きく変化しています。

マイナンバーカードリーダーなどデジタル技術の導入、オンライン診療、電子カルテの導入などIT化への対応、ベースアップを始めとするスタッフの賃金対応も令和6年度の保険改定時には導入され、会員の先生方には、複雑でわかりづらい改定内容となりました。

来年（令和8年）6月は保険改定の年となっており、それに向けての会員向け改定説明会の準備、各地区歯科医師会社保委員会と連携し、新規指導・集団的個別指導対象・再指導対象医院向けの講習会の実施、また実際に各指導対象医院に出張しての事前指導（資料・カルテなどのチェック）など、きめ細かい指導対策を行い新規指導時には、非会員への入会等も勧めています。

九州社保担当者会議や、社保ネットワーク協議会（九州では福岡県と沖縄県のみ）では、九州だけでなく、北海道含む東日本20県との（会員にとっては非常に貴重な）社会保険情報網構築のため情報の交換を行っています。

また会員向け施設基準対応研修会と再受講が可能な研修会を計画していきます。会員の先生方にはメリットが感じられるような分かり易い保険委員会にしていきたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



学術担当理事 崎 濱 秀 海

この度、沖縄県歯科医師会の学術担当理事に就任いたしました崎濱秀海です。

2014年2月に歯科医師会に入会し同年7月より県歯の学術委員となり以後今日に至るまで、様々な経験を積んできました。初めての理事ですが、理事経験者の新崎博文先生、金子智之先生が委員として残っていただき心強いです。

今期も昨今の災害の増加に対応してのデンタルチャートの講習会や医療従事者向けの技術向上支援研修会・認知症・ガンに関する医科歯科連携講習会・歯科衛生士の講習会等、会員の医院全体に有益な講習会を開催していく予定です。

今後とも、皆様からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



監 事 平 良 浩

いただきます。

今回、沖縄県歯科医師会監事に就任しました平良浩です。2期目の監事となりますが、前回の経験を活かしながら本会の運営管理等全般について監査を行いその状況を正確に把握し、運営の健全化、能率化に資し事業本体の総合的見地から公正に業務を行いたいと思います。簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。



監 事 玉 城 均

この度、沖縄県歯科医師会の監事を拝命いたしました玉城均と申します。監事には、財務会計だけではなく、法人の経営全体が適切かつ効率的に機能しているかについて監査することが求められています。

本会に在っては、業務の適正化、情報伝達の効率化や社会活動への人材育成等が課題として挙げられています。これらの視点を備え、会長を中心とした理事の先生方の職務執行をしっかりと支えていくと同時に、何よりも会員の皆様に信頼される活動が実現できるように目を凝らしていくことが重要だと考えます。

至らぬところが多々あると存じますが、皆様のご指導ご鞭撻のもと、少しでも確実な仕事ができばと考えております。

よろしくお願いいたします。

退任の挨拶



前常務理事・前財務厚生担当理事 眞喜屋 睦 子

会員の皆さまには、日頃から会務に対するご理解・協力のほど感謝しています。

この度、財務厚生担当理事を退任する事となりました。2期4年間やり切った感でいます。

財務の仕事を引き受け、実際経験してみて感じた事。財務とは、予算立て決算報告、月々のお金の出し入れの管理だけではなく、全ての会務に精通していなくてはならない部署であるという事でした。

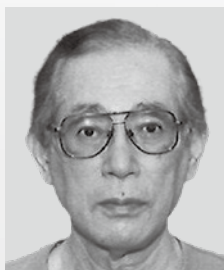
月2回の常務会、理事会、県との折衝、イレギュラーな会議など、スケジュールで手帳が埋め尽くされる日々でしたが、その都度頭の中に会務の内容が蓄積されていく感じでした。

代議委員会報告では分かりやすい説明を心がけました。それぞれの会務に関する質問を予算決算に絡めて説明もできるように努めました。就任当初は細か過ぎて時間もかかり、聞いている先生方お疲れになったのではないのでしょうか？申し訳なく思っています。その都度ブラッシュアップを心がけ、最終的には半分の時間での説明ができるようになりました。

厚生事業に関して、インドア派の私にとってこれは最も不得意な分野で、事務局の担当職員（與那嶺さん）にお任せしてしまいました。本当に助かりました。また常務理事の一員として、衛生士学校の教務委員も努めましたが、これも学校の財務の理解に役立ちました。

最後に歯科医師会職員の待遇改善、給与体系の見直しなど、コンサルの先生のアドバイスを受けながら取り組み実施できた事も良い経験でした。

常務理事、理事の先生方、職員の皆様、頼りない理事ではありましたが、サポートして頂きありがとうございました。感謝の意を込めまして、挨拶締させていただきます。



前社会保険担当理事 外 間 宏 正

この度理事を退任することについてご挨拶申し上げます。

保険担当理事就任の際は「組織力を上げるため、表だっでの活動、また裏方としての役割をなんとか務めたい」との思いでお引き受け致しました。

理事として中々十分に役目を果たせないまま(体調が思わしくない旨)の退任になりました。

これから先々のこと前途多難な事が待ち受けているかとは存じますが、どうか県民・国民のため、県歯科医師会役員・会員が一丸となって頑張ってくださいませよう、今後ともよろしくお願い致します。



前学術担当理事 金子 智之

先日の代議員会をもちまして、県歯学術理事を退任させて頂きました。皆様のおかげで無事に終える事が出来ました事を感謝しております。県歯の理事をやった良かった事は色々ございますが、例を挙げますと理事にならないと会えない人に会える事がございます。日歯の会長や他県の会長、県庁の方、大学の教授、大きな病院の院長、政治家の方など会ってお話をする自分の教養や人間関係が大きく向上する機会に恵まれます。そして、日歯や県歯のシステム、保険点数の決まり方など知っておくと良い情報にも接する事が多々ありました。皆様も一度は県歯の理事を経験されてはいかがでしょう。また、県歯がいかに多くの労力を使って会員の為に頑張っているか知る事が出来ました。これも大きな収穫でした。

さて、私はこの2年間で事業を行う際に注力したポイントは以下でした。1. 会員にすぐに役立つ内容か。2. 商業講習会では聞けない分野の内容か。3. 会員が知っておかないと困るであろう重要な内容か。この3点に気をつけて行いました。本土まで行かずに素晴らしい講演を沖縄で受講できる事は会員の大きなメリットの1つだと思います。後任の崎濱秀海理事もこれまで以上に会員の皆様の為に尽力して下さると思いますので皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



前調査広報担当理事 平 良 和 枝

令和7年6月定時代議委員会をもちまして、調査広報理事を退任いたします。米須会長の「離島から理事を」という念願の理事就任から早2年。

「ホームページの改修」をミッションに、委員会一丸となって取り組んでまいりました。

当初は、WEB会議・原稿の校正など何をとりましたが不慣れなスタート。

その中で、県歯科医師会の理事・役員の先生方の会員向けの真摯な対応・支援活動に感動し、また事務局の労を惜しまないサポートに触れるたびに感謝の思いが湧き上がってきました。

今年度は九州歯科医学大会、日本障害者歯科学会と対外的にも大忙し。また日歯広報への出向もあり、この時期ならではの貴重な経験を沢山させて頂きました。

「離島」というハンディキャップが「スペシャル」になった2年間でした。

広報誌という（現代のデジタル化にはそぐわない）アナログの世界が会員の情報のよりどころになるよう、今しばらくの間（移行期）は必要かと思います。

沢山の学びと経験をいただき、感謝の思いでいっぱいです。有難うございました。

● 県歯報告 ●

令和7年度 定時代議員会報告

日時：令和7年6月22日（日）10時45分～

場所：沖縄県口腔医療センター 2階大研修室

調査広報理事 平 良 和 枝



1. 開会の辞 副会長 渡慶次 彰
2. 議事録署名人指名 議長 赤地 一史
3. 物故会員に対する黙祷 議長 赤地 一史
4. 会長挨拶 会長 米須 敦子



5. 報告事項

(1)令和7年度会務報告

専務理事 屋 嘉 智 彦

(2)令和7年度各会計現況報告

常務理事 眞喜屋 睦 子

(3)令和6年度監査報告

監 事 比 嘉 良 喬

6. 承認事項

(1)寄付された金品の収受および用途について

専務理事 屋 嘉 智 彦

7. 議事事項

第1号議案 令和6年度一般会計決算に関する件

常務理事 眞喜屋 睦 子

第2号議案 令和6年度沖縄歯科衛生士学校会計決算に関する件 〃 〃

第3号議案 令和6年度沖縄県口腔保健医療センター会計決算に関する件 〃 〃

第4号議案 令和6年度共済基金会計決算に関する件 〃 〃

第5号議案 令和6年度収益事業会計決算に関する件 〃 〃

第6号議案 地域医療介護総合確保基金特別会計決算に関する件 〃 〃

第7号議案 第41回日本障害者歯科学会特別会計決算に関する件 〃 〃

第8号議案 第76回九州歯科医学大会特別会計決算に関する件 〃 〃

第9号議案 令和6年度各会計剰余金処分に関する件 〃 〃

第10号議案 令和6年度計算書類(附属明細書)並びに財産目録に関する件 〃 〃

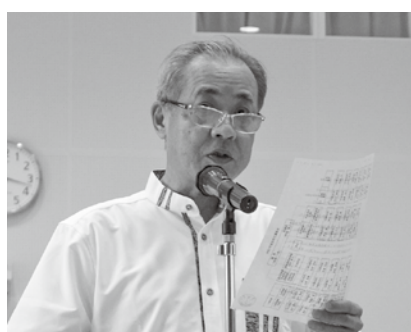
〃 〃

第11号議案 沖縄県歯科医師会選挙管理委員会委員選任に関する件

専務理事 屋 嘉 智 彦

第12号議案 沖縄県歯科医師会裁定審議会委員選任に関する件 〃 〃

第13号議案 一般社団法人沖縄県歯科医師会理事選任に関する件 〃 〃





第14号議案 一般社団法人沖縄県歯科医師会監事選
任に関する件 〃 〃

第15号議案 公益社団法人日本歯科医師会代議員及
び予備代議員選任に関する件 〃 〃

8. 閉会の辞 副会長 渡慶次 彰

令和7年度定時代議員会が、令和7年6月22日(日)
午前10時45分より行なわれた。

代議員総数45名に対し出席数42名が確認。これに
より定款22条に規定する定数を満たし代議員会成立
の宣言を事務局長から報告され、これを受け、渡慶次
副会長より開会の辞が述べられた。

会長挨拶では、始めに会運営に対してのお礼を述
べ、Ⅱ期目において日歯への理事としての出向が重
なり会員への「周知」への面で十分でない感があり
、今回は任期最後という思いで会運営を進め、組
織力を上げていくことを資料を示しながら述べた。

またODAの引き継ぎ問題、歯科技工士・歯科衛
生士の人材確保・育成へ向け、会員のためになるよ
う問題解決へ向け、情報を提供しながら進めていく
ことを述べ、現状についての報告もなされた。

報告事項においては、令和7年度会務・会計報
告、令和6年度の監査報告がなされた。

(報告事項あとの質問事項についての回答はホー

ムページ会員専用に記載)

承認事項は 賛成多数にて承認。

議事事項第1号議案から10号議案まで賛成多数に
て承認された。

第11号議案選挙管理委員会委員、第12号議案裁定
審議委員会委員が賛成多数にて承認され、その後の
第13号議案理事選任、第14号監事選任については執
行部役員退出後選挙管理委員にて進行が行なわれ、
9名の理事と2名の監事が選出された。

第15号議案は賛成多数で承認され、渡慶次副会長
の閉会の辞にて定時代議員会閉会となった。

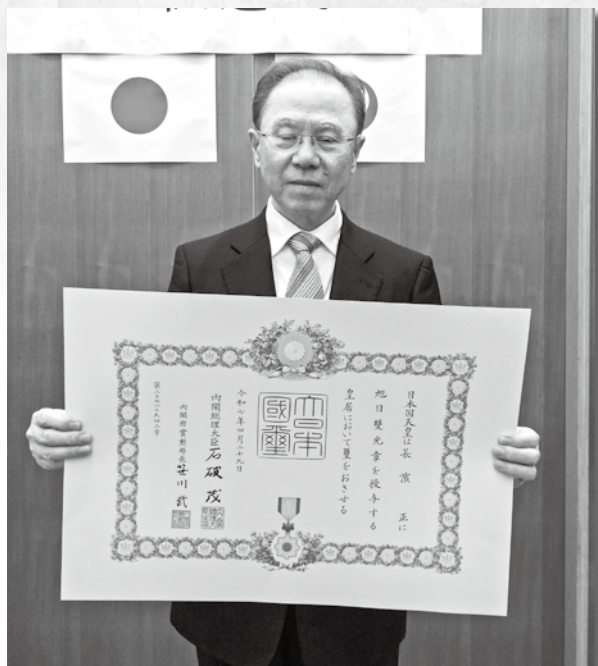


受章おめでとうございます

旭日双光章受章

長 濱 正

感 謝



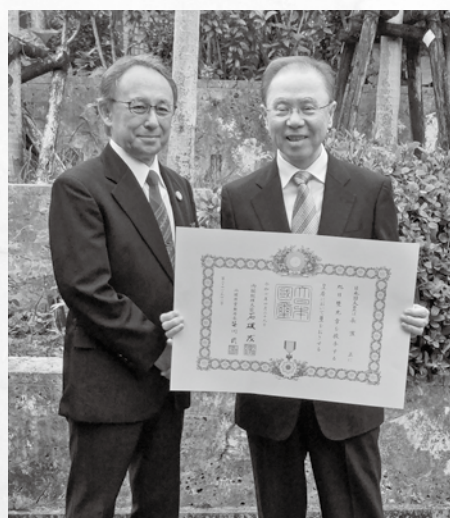
令和7年 春の叙勲において旭日双光章受章という栄誉を受けることになり大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いがしています。

5月28日 叙勲伝達式を経て皇居宮殿内豊明殿にて天皇陛下に拝謁を賜り労いのお言葉をいただきました。この旭日双光章受章は歯科医師会諸先輩の先生をはじめ会員の先生方のご指導ご鞭撻そしてご支援ご協力の賜物だと深く感謝申し上げます。

これからはこの栄誉に恥じないように精進し歯科界の為に微力を尽くす所存です。

最後に推薦して頂いた会長並びに執行部の先生方そして事務局に感謝申し上げます。

医療法人 長浜歯科医院 長 濱 正



受章おめでとうございます

瑞宝双光章受章

玉城英人

叙勲受賞の御報告



この度、令和7年春の叙勲におきまして瑞宝双光章の栄誉を賜ることとなりました。

これもひとえに、長年にわたり多くの皆様のおかげと、推薦頂いた米須県歯会長はじめ関係者に心より深く感謝申し上げます。

思えば25歳で歯科医師会入会、27歳から小・中学校の学校歯科医させて頂き(ほかに



も地域の保育園や一歳半健診・高校健診)又56歳から市の教育委員会委員として4年間務めて参りました。その様な取り組みが学校保健功労者として評価されたと思い、大変ありがたく引き締まる思いでございます。

この栄光を励みに今後とも地域歯科医療とともに、子供たちの口腔衛生・予防の推

進に微力ながら尽力してまいる所存です。

最後になりましたが、歯科医師会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

い歯科医院 玉城英人



デンタルフェア八重山

すながわ歯科 砂川 明穂

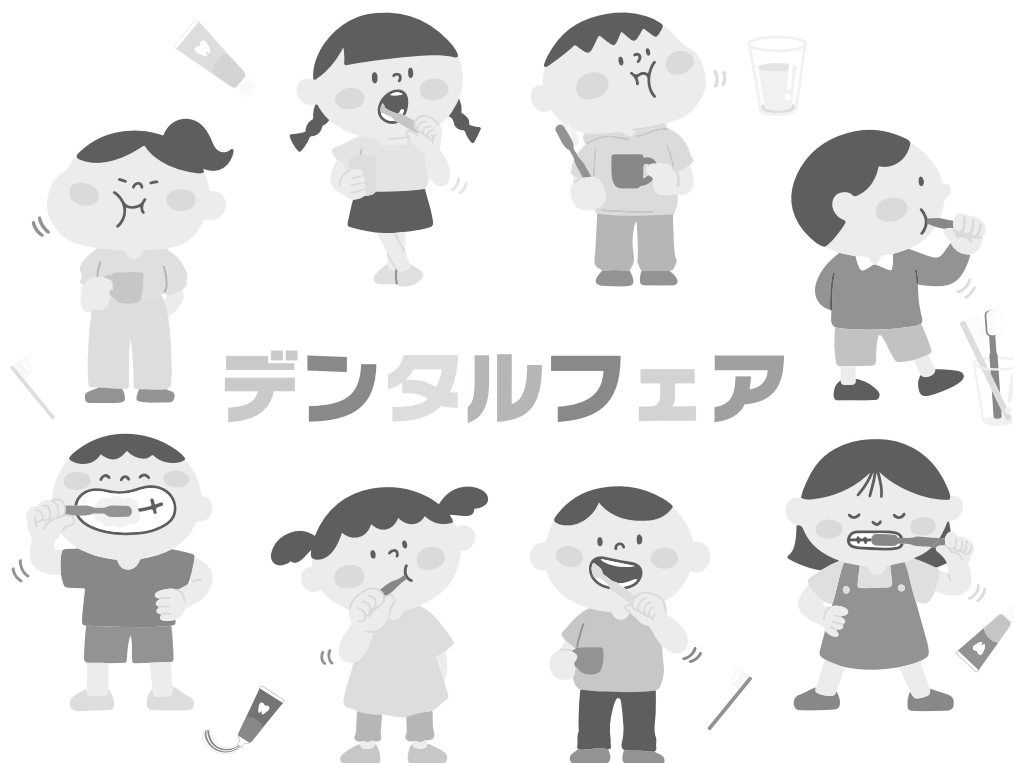
去る6月7日、令和7年『歯と口の健康週間』第44回デンタルフェアが八重山健康福祉センターにおいて開催されました。昨年の43回デンタルフェアは児童施設での小規模開催という形をとりましたが、今年はコロナ以前に通常行われていたセンターの検診ホールでの開催です。同会場での開催は2019年以来6年ぶりとなります。

検診・フッ化物洗口体験・フッ素塗布等（歯磨き指導は飛沫感染の可能性があるため中止）のコーナーが設けられ、来場者の数は220名余りとコロナ前と比較すると流石に少ないですが、久しぶりのイベントにしてはなかなかの盛況ぶりでした。例年は無料検診とフッ素塗布を中心に家族連れが多いのですが、今回は高齢者が多く検診に加え歯科相談の件数も増えていました。中でもご高齢の来場者のひとは、八重山毎日新聞に掲載されたリレーエッセイ

を読んで興味を持たれて来場したと仰っていました。これは当フェア開催を挟んだ6／4～6／10の間、口の健康をテーマにした執筆者が日替わりのリレーエッセイを示しています。執筆の担当は当八重山地区歯科医師会を含めて9つの団体・関係者による多種多様な内容であり、日常の生活と口腔・全身健康について様々な角度から書かれ非常に充実したものでした。担当された地区会員の漢那憲宜先生を含め、県保健所や教育委員会、教職員の方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。

今回のデンタルフェアでは少しでも自身や家族の口の健康への興味を持っていただくように、様々な形で啓発活動を行うべきではないかと感じます。

来年もまた、有意義なフェアの開催を目指して地区会員一同頑張っていきたいと思います。



デンタルフェア宮古

宮古地区歯科医師会 波 平 篤 樹

宮古地区歯科医師会では以前より児童養護施設等に何か協力は出来ないかとの意見があり、今回6月8日(日)漲水学園にてデンタルフェア開催に至りました。

ご承知とは存じますが児童養護施設とは様々な事情で家庭での養育が困難になった子ども達が18歳(または20歳)になるまで入所します。

漲水学園は小学校2年生から高校2年生までの男女13名が生活しています。

園内には個室、食堂、自習室、講堂、図書室等がありまさに学生寮の雰囲気です。特記すべき事項としては高校卒業後の生活をイメージしたアパートの一室を模した部屋がありました。生活スタイルも起床、食事時間、登校時間、学習時間、自由時間等、規則正しい生活です。門限内であれば部活動や外出も自由に行うことが可能です。園内イベントも定期的に行なわれていました。



さて、デンタルフェアですが対象人数が13名と少ないため今回はドクター 10名、衛生士会 3名、技工士 1名参加でした。

- 1 相談コーナー
- 2 ブッシングコーナー
- 3 歯医者さん体験コーナー;模型でレジン充填
- 4 技工体験コーナー;アルジネート印象材で手型、指型、石膏模型作成
- 5 電気メス体験コーナー;電気メスを使って鶏肉を切ってみよう





池田吾歌子先生司会で波平篤樹会長、漲水学園嵩里公敏先生挨拶後、平良和枝先生の講演会が行なわれました。歯科に関するクイズも交えながら子ども達だけでなく職員の先生方、私たちもとても楽しく大好評でした。各コーナーでも子ども達が予想以上に喜んでくれてリピーターが出る程の盛況ぶりでした。なかには話好きな子どもも何人かいて楽しい時間を過ごすことができました。あっという間に閉会時間で宮古地区歯科医師会から子ども達に歯ブラシ等のささやかなプレゼントを贈呈しました。波平真樹副会長の挨拶にて令和7年デンタルフェア無事終了致しました。参加された先生方ありがとうございました。漲水学園の子ども達にも感謝。



はみがきしょう

第45回 デンタルフェア北部

北部地区歯科医師会デンタルフェア実行委員長 神 元 龍 一

拝啓 初夏の候、皆様方にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

北部地区歯科医師会では、去った6月8日（日）イオン名護ショッピングセンター様の御協力のもと、第45回デンタルフェア北部を開催致しました。先だって行われた開会式では、（一社）沖縄県歯科医師会会長 米須敦子先生を始め、渡具知武豊名護市長、木村太一北部保健所長の御祝辞を賜り、感謝申し上げます。

開会式での8020表彰には3名の方々の受賞者の表彰も行われ、末永い御健康、御健勝をお祝い致しました。

正午よりデンタルフェアの開催がスタートし、無料歯科検診や歯科相談、お口の細菌観察コーナー、ブラッシング指導やフッ素塗布などを行いました。

また、特設ブースにおいては沖縄県北部保健所の御協力により、フッ化物洗口コーナーも同時開催致しました。

来場し検診を受けたお子様方には、お帰りの際にKAWARAYO九州様からご協賛のおもちゃのくじ引きや、アサヒプリテック様から風船の提供もあり、大変喜んで頂きました。

良い歯の子の表彰も、学校推薦の子、会場の検診での推薦の子合わせて、約70名の表彰があり、年々虫歯の無い子が増えて来ている事に、会員一同喜びを感じております。

今年度は300名余りの方に来場頂き、年々口腔の健康への理解が深まり、かつデンタルフェアの認知度も上がってき

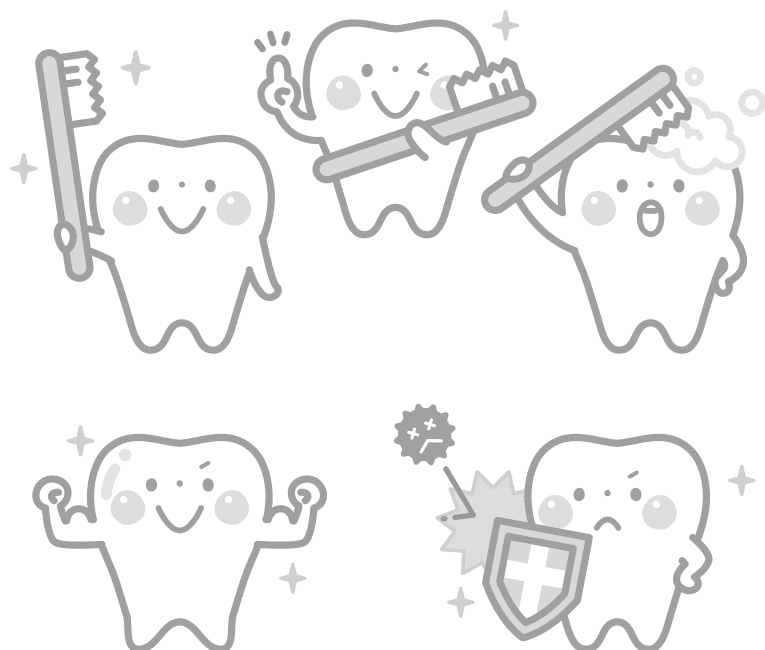
ていることを実感致します。

午後4時にはデンタルフェア終了の時刻となりましたが、北部地区歯科医師会会員の先生方、スタッフの方々、御協力頂いた各関係団体の皆様には、朝の会場設営から終了後の片づけまで御協力頂き、大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、6月1日（日）～6月8日（日）のデンタルフェア前の1週間、名護博物館にて、良い歯の図画ポスター展を併せて開催したことも御報告致します。

来年度も今年度以上の成功を目指していきたく思いますので、皆様方の御協力御指導の程、よろしくお願い致します。

敬 具



はみがきしよう

第39回 デンタルフェア中部

野原歯科医院 野原 昭彦

第39回デンタルフェア中部は、6月7日土曜日、ちattanニライセンターにて開催した。昨年まで恒例として使用していた沖縄市民会館の中ホールが改装工事に入るため初めての場所での実施となり不安もありましたが、会場の立地・設備等が思いのほか良く、天候にも恵まれ無事実施することができました。

会場ホールに隣接するピロティは、パーテンションの設置自由度が秀逸で、毎年悪戦苦闘していた図画ポスターの掲示もまるで美術館の回廊の様、とまではいかないものの美しく掲示することができました。



屋内でオープニングセレモニーを行う十分な広さも確保できたので、県・地区・両会長で、中部市町村会会長・中村正人様、沖縄市教育長・高江洲実様、中部保健所所長・宮里義久様を間にはさみ快適にテープカットを行う事もできました。コロナ禍以降ご遠慮いただいている団体園児も再び招待したほうがいいと思えるほど十分なスペースでした。

図画ポスター掲示の負担が解消されたメインホール内は、各コーナー配置のゆとりもでき、今後協力業



者出展の増加やコーナー増設にも対応できそうなキャバを感じました。また昨年からの実施の歯ブラシデコレーションコーナーも盛況でした。

表彰式舞台も以前とくらべて勝るとも劣らない作りで、会場の確保にご尽力いただいた会長に気持ち良く多くの表彰をこなしていただけたのではないかと嬉しく思いました。

サンプル配布・出展いただきました。ロッテ・日新製糖・バイオガイア様、沢山のくじ景品をいただきましたkawaryoさん 風船づくりでエンタメコーナーを盛り上げ、設営・撤去片付けまで協力いただいた、アサヒプリテックさん。そして各コーナーご協力いただきました先生方およびスタッフの皆様ほんとうにありがとうございました。次年度もまたよろしく願いいたします。



最後になりますが、執行部入れ替えに伴い永年会務を支えてくれた事務局新垣さんが今年度をもって引退となります。多くの礎を築いてくれました。しっかりと後任の宮里さんに引き継がれたと思います。さみしくなりますがきっとまたちょくちょく遊びに来てくれると思いますのでその時はねざらいいの言葉をかけて上げてください。

お疲れ様でした。ありがとうございます。



デンタルフェア南部

健康づくり推進対策委員会 高 良 正一郎

梅雨明けが伝えられ初夏の蒸し暑い天候の6月8日
日曜日、サンエー那覇メインプレイスにて南部地区
歯科医師会のデンタルフェアを行った。

今回は、久々にオープニングセレモニーを実施
し、沖縄アクターズスクールによる歌とダンス、那
覇市副市長 古謝玄太氏による来賓挨拶、南部地区
歯科医師会会長 井上博文による主催者挨拶が行わ
れスタートから大盛況となった。

『健康は健口から お口の健康を大切に!』をメイ
ンテーマに午前10時から午後2時まで4時間で1,028
名の大変多くの来場者を迎えることができた。

デンタルフェア会場では、ロッテによる咀嚼ガム
体験、花王による口腔ケアグッズの紹介、バイオガ
イア・ジャパンによるロイテリ菌タブレットの提
供、アドテック&アトルによる歯周病リスク検査ア
ドチェックの体験、ウェルネオシュガーによる酸を
作らない甘味料を使用したグミの提供、Haleonジ
ャパンからシュミテクトの提供、雪印ビーンスター
クよりハキラの提供、アサヒプリテックによる風船
プレゼント、KAWARYOによるお土産コーナー、
相田化学工業による歯科ラボの紹介のお手伝い、那
覇市保健所によるお口の健康に関する展示紹介、沖



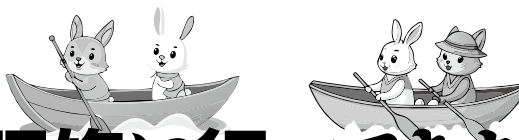
縄歯科衛生士会によるブラッシング相談コーナー、南部地区歯科医師会によるむし歯治療体験・口臭検査・お口の健康相談・F塗布、沖縄県歯科衛生士学校や専門学校大育の歯科衛生士学校の紹介などが行われた。熱心に説明に聞き入る方、楽しそうにはしゃいでいる子供たち、恐る恐るむし歯治療を体験する子、来場者へ説明や対応する先生方や企業のスタッフ、会場は熱い熱気に満ちたとても楽しい空間であった。

市民のお口の健康に寄与するデンタルフェアであるが、市民と歯科、市民と歯科業界を繋ぐ場でもあると思う。今後も規模や形は変わると思うがデンタルフェアを継続したいと考える。

日常のイベントが普通に行われるようになり、今回も1,000名を超える来場者を迎えることができ、ご協力頂いた関係者、関係各所の皆様に感謝したい。ありがとうございました。



38期1年生宿泊研修に行ってきました



38期生 大城 夏海

私たち38期1年生は4月24日（木）～25日（金）にかけて1泊2日で金武町にあるネイチャーみらい館に宿泊研修に行ってきました。

初日はバスで移動、車中では保護者の方から差し入れられたシャーベットで涼み、到着後は歯科に関連するクイズや、バレーボールで交流を深めました。



午後からは、コミュニケーションの授業があり、まだ話をしたことの無い級友とゲームを通しておしゃべりし、入学から約3週間でクラスの全員と話すことができました。

夜は、BBQやビンゴ・花火など皆で協力してイベントを楽しみました。また、就寝後の時間には誕生日の学生のお祝いをしたり、遅くまで盛り上がりました。

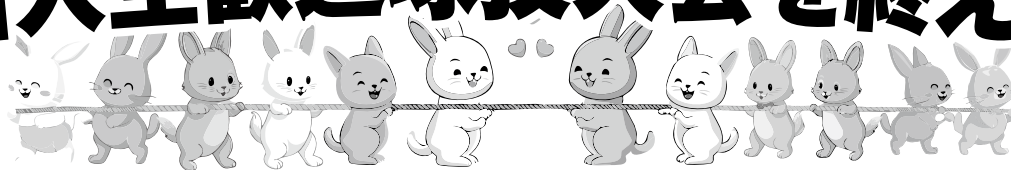


2日目は救命講習で、心肺蘇生法について学び、歯科医療人となることを改めて実感し気が引き締まる思いがしました。

今回の宿泊研修を通して、チームワークの大切さや、助け合う心を実践的に学びましたが、時間の活用の仕方など先生方から、指摘を受けることもありました。将来、歯科医療現場で役立つ社会人に成長できるよう、38期みんなで頑張っていきたいと思います。



新入生歓迎球技大会を終えて



沖縄歯科衛生士学校 教務課 稲 嶺 直 子



5月2日（金）ANAアリーナ浦添において、令和7年度新入生歓迎球技大会を2年生が幹事学年となって開催された。新入生44名が入学して1か月、1年生同士が仲良くなることはもちろん、他学年との交流も目的としており、2年生は兄弟番号でチーム編成し、他学年でもチームメンバーだとわかるように、チームカラーを身にまとうルールを考え、バレーボールと綱引きを計画してくれた。開会式での整列や準備体操では上級生に遠慮がちな新入生が初々しく見えたが、競技がすすむに従い、3月まで高校で部活動や体育の授業があった若さを発揮、全力で挑む姿がみられた。また、終了後には仲良くなった先輩と記念写真を撮る姿もみられた。3年生は前期末試験がひと段落つき、臨床実習スタート直前という時期だった。歯科衛生士という職種は先生方やコメディカル、患者さん、そのご家族などコミュニケーションが大切になってくる。座学では伝えきれない部分を、準備や片付け、試合や応援を通して実践的に教育できたと思う。





・県内報告・

沖縄こどもの未来県民会議 令和7年度総会

日時：令和7年7月10日（木）15時～16時30分

場所：沖縄県市町村自治会館2階ホール

学校歯科理事 玉城 斉

次

第

司会 沖縄県こども家庭課

1. 会長あいさつ 沖縄県知事 玉城 デニー
2. 感謝状贈呈 伊藤 典彦 様（獣医師）
3. 報告事項

(1)令和6年度収支決算及び監査報告について

【報告事項1】

(2)令和6年度事業実績報告等について

【報告事項2】

(3)県外大学等進学サポート事業に関する報告

【報告事項3】

(4)令和7年度収支予算及び事業計画について

【報告事項4】

(5)こどもの貧困対策に関する各団体の取組状況について

【報告事項5】

(6)令和6年度沖縄こども調査の結果について

【報告事項6】

4. そ の 他

- ・戦後80年祈念 舞台「生きているから～対馬丸ものがたり～」上演にむけてのご協力のお願い 趣意書

〈報 告〉

「沖縄こどもの未来県民会議 令和7年度総会」が令和7年7月10日（木）、沖縄県市町村自治会館にて開催された。会長代理として昨年に引き続き、2回目の参加となる。

本県民会議の目的は、県民会議設置要項 第1条に「沖縄県のこどもの貧困の深刻な状況を踏まえ、沖縄の未来を創造するこどもたちが安心して暮らし、夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指して県民の総力を結集し、県民一体となってこどもの貧困解消に向けて取り組むため、県内各界の関係機関等で構成する『沖縄こどもの未来県民会議』（以下『県民会議』という。）を設置する。」とある。

事業として、第2条に県民会議は、その目的を達成するため、次の事業を行うとある。

- (1)こどもの貧困解消の推進に関すること
- (2)県民への広報・啓発活動に関すること
- (3)NPO法人等への支援に関すること
- (4)ひとり親家庭の親等の雇用促進、正規雇用への転換に関すること
- (5)民間資金による基金創設に関することと、掲げている。

玉城デニー知事による、会長あいさつでは、平成28年(2016年)に設置され、10年目を迎え、より充実した支援内容にしたいと、その趣旨を述べた。

感謝状贈呈は、「平成28年度の沖縄子どもの未来県民会議設立以降、継続的かつ累計300万円以上の寄付・寄贈があった団体・企業や、寄付100万円以上があった個人に対し感謝状を贈呈」するとある。

今年度は、県外の伊藤典彦獣医師より、沖縄戦や基地問題などこれまでの沖縄の苦難に対し、沖縄のために何か役立てることはないかと考え、こどもたちの未来のために活用してもらいたいと、100万円の寄付を頂いた。

その後、報告事項が述べられ、その中で各団体の取組状況では、①琉球新報社の「おきなわこども未来 ランチサポート」、②RBC琉球放送の「応援！18の旅立ち」、③NPO法人沖縄青少年自立援助センターによる支援事業等、それぞれの特徴ある取組が興味を引いた。

その他では、たから歯科医院 高良政勝先生が共同代表を務める「戦後80年を考える対馬丸実行委員会」による舞台「生きているから～対馬丸ものがたり～」の上映予算としてのクラウドファンディングによる寄付等の支援の協力があった。

昨年に比べ時間ギリギリまで協議され、充実した会議となった。本会議が子ども達の希望の光となって頂きたいと感じた。

Part2

私の診療所作り



(医) 香優会 比嘉歯科医院 比 嘉 良 喬

をしています。

弟の診療所は子供が多い地域で、小児歯科として診療をしていましたので、引き継いだ時に、午前中の予約状況が悪く、思い切って診療時間を平日は13時から18時と午後のみとし、学校が休みの土曜日は10時から17時にしました。時間が短いため医療法人です。正社員としてのスタッフの雇用が困難な問題も出ましたが、なんとか歯科衛生士を含めて非常勤スタッフを確保できました。

本院にも新たな問題も出てきました。有線LANでレセコン含めレントゲン画像のシステムをタブレットでレセプトから画像説明できるシステムへの変更を既存のレセコンメーカーなど他のメーカーも検討しましたが、一長一短で中々決まらず。2021年9月塩漬けされていたプラネットがやっと日の目を見ることになりました。新たなシステムに適應できない？ベテランスタッフが新人と入れ替わり退職、2023年3月には勤務医も退職し、新たなスタッフとの診療体制になり、1986年に沖縄に戻ったときのスタッフと同じ年齢層で、娘たちと同じ年代のスタッフと診療をしています。

新規に開業から14年、コロナ禍による患者さんの激減も経験し、働き方改革等の時代の流れもあり、現在は休憩時間を1時間にし、診療時間は9時～17時半、完全週休2日制へと変化をしていきました。

古希を迎える今年新たなステップとして医院承継を含めて、分院を閉院して本院と統合する事を検討しています。

理由は歯科医療界の人材不足が顕著なこの時代、又分院の手狭に加えユニットの老朽化等による新規購入や移転費用などを考慮すると採算性が難しく、今後一本化に向けてコンサルタントをお願いをしていく予定です。

これからの時代新規開業するにも、建築業者の確保や資材の高騰など更にスタッフの確保など厳しくなる事が予想されます、少子高齢者も更に進んでいくでしょう、診療方針もその時代に応じたものに変えていかなければなりません。

The Fall of Curtain

2010年3度目の挑戦55歳沖縄県歯科医師会会長職中に、補修しても10年もつか分からないとの専門家の意見を聞き、後継者も在学しているのと、まだ頑張れるかもしれないと根拠なき自信を持って、7月に年齢的にも最後になるので思い切って、設計の段階から設計士と綿密な打ち合わせを行った。

診療所の設計の基本方針として、①フラットで極力段差をなくした床(土足)②LAN等の配線は極力壁に這わさない壁の中に埋め込む③ユニットは半個室としプライバシーの確保。④空間を広く解放感のある室内。⑤滅菌コーナーの設置。⑥時代に応じてリニューアルできる間取り。など100周年をむかえるまで存在できる設計を行った。

工事期間中は、近くの1階に店舗のある賃貸アパートがあり、診療所を移転しスタッフルームは2階のアパート1室を借りて、16坪の店舗にユニット3台にレントゲン室に機械室とかなりコンパクトな診療室で診療をしました。残りの機材は他の店舗を借り倉庫とし保管しましたが、半年以上使っていない為老朽化が進み結局は廃棄となり、新規に機材購入をすることになりました。ここでの経験がのちの診療所の引継に役に立ちました。使わない時期でも劣化させない為に機械は常に動かしておくことでした。

2011年3月11日に東日本大地震に津波による災害は、日本の経済が不確かな時代に突入。負債を抱えたまま4月に3階建ての診療所を開院。1階に受付待合室、高齢者及び初診対応にユニット2台とレントゲン室にサーバー室、2階には治療用3台のユニットに予防用ユニット2台の計7台を新規に購入設置。

勤務医1名・歯科衛生士5名・歯科助手1名・受付2名で新スタート。駐車場も4台分確保でき患者さんの利便性ができました。スタッフルーム及び院長室兼事務所を3階に設置しました。2階は5m以上の吹き抜けにして解放感のある明るい診療所となりました。

2021年弟が急逝し、分院として引き継ぐ事になり息子を無理やり連れ戻して、管理者として引き継いでくれました。

Part1から読んでいただいた皆さんは気づいたかと思いますが、だいたい10年毎にバージョンアップ

会員プロフィール

- ①氏名(ふりがな)
- ②生年月日
- ③出身大学・卒業年度
- ④歯科医院名・所在地
- ⑤医院の特徴・PR
- ⑥趣味・マイブーム・自己紹介
- ⑦家族構成・ペット等
- ⑧県歯科医師会に望むこと



しま だ さあ や
①島 田 装 彩

②1994年9月3日

③松本歯科大学卒
2019年卒

⑤歯科治療恐怖症の方には笑気鎮静を用いたりと配慮しております。

また、口腔外科にも力をいれております。

⑥陸上競技

⑦両親・妹・犬一匹

⑧入会のご了承頂きありがとうございます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

④医療法人 装彩会 みんなの歯医者さん

〒901-0021 沖縄県沖縄市胡屋2-16-2



ごえく とも しげ
①護 得 久 朝 滋

②1989年2月21日

③北海道医療大学
2019年度卒

⑥家庭菜園、キャンプ、ライブ参加。今年は那覇マラソンを完走！

⑦3人兄弟

⑧会員が幅広く参加できるセミナーや情報共有の充実を望みます。

④新里歯科・矯正歯科

那覇市壺屋

⑤家族で通えてなんでも相談できる歯医者さんを目指しています：)



なか ざと なお みち
①仲 里 尚 倫

②1989年10月7日

③九州歯科大学
2015年卒

⑤予防を中心としたクリニックです。0歳から高齢の方まで、家族で通える歯医者を目指しております。

⑥車、ドライブ

⑦妻 娘2歳 息子0歳 4人家族

⑧具体的な案は分かりませんが、歯科会全体が働きやすい環境になればと思います。

④なかざとファミリー歯科口腔クリニック

那覇市大道 45 番地



いけ はた こう し
①池 端 幸 司

②1967年3月26日

③日本歯科大学新潟校
1991年度卒

④池端歯科医院

沖縄県名護市宮里1-28-8南西ビル3F

⑤出身は東京品川です。

大学卒業後33年間神奈川県横須賀市で歯科医療に従事しておりました。

小嶋壽先生に師事しGPとしてインプラント以外小児歯科、虫歯治療、歯周病治療、入れ歯、噛み合わせ、矯正など歯科治療全般に渡り勉強して参りました。

これまでの経験を元に沖縄県北部地域の患者様に寄り添い丁寧な説明と精密な治療を心がけ患者様が安心して通える歯科医院を目指します。

⑥趣味は剣道です。名護市剣道連盟に所属して稽古しております。

⑦妻と子供3人孫1人おります。

長男次男は横須賀で植木職人をしております。

3番目の長女は高校3年生（長男の家に下宿）子供達は横須賀に残して妻と犬1匹連れ令和7年春に移住して参りました。

沖縄移住は夫婦で若い頃からの夢でした。

子供達も「もう行っていいよ！」と背中を押してくれましたので還暦直前の高齢で周囲からは心配されましたが名護市での開業に踏みきりました。

終活です。

⑧宜しくお願い致します。



き とう ゆう だい
①鬼 頭 雄 大

②1994年12月2日

③朝日大学
2020年度卒

④松川歯科医院

沖縄県沖縄市泡瀬

⑤日曜診療を行なっています

⑥ドライブ

⑦一人暮らし

⑧まだまだ未熟で分からないことも多いため歯科医師会の先生方から学ばせていただければ幸いです。



予防が第一 早期発見を

歯の長寿学

県歯科医師会コラム



360

高嶺邦朗

たかみね歯科クリニック（那覇市）

むし歯になつたら歯科医院で治療を受けるのが一般的です。しかし「治療しているのに、なぜ完治しないの？」と疑問に思う方もいらっしゃるかもしれません。

そもそも完治とは、病気が完全に治って元の健康な状態に戻ることを指します。歯の治療では、むし歯になった部分を削り取り、強化プラスチックや金属、セラミックなどの材料で詰めたりかぶせたりして補います。割れたお茶わんを接着剤で修復しても元の強度には戻らないのと同じで、極端な言い方をすれば、歯の治療は「治す」ではなく、「悪い部分を取り除いて、噛める状態を補っている」に過ぎません。つまり、むし歯の進行を止めているだけなのです。

口の中は非常に過酷な環境です。歯

むし歯は完治しない

むし歯は男性で約70歳、女性で約45歳にも及びます。さらに熱いものや冷たいものが交互に入り、さまざまな菌も繁殖しています。そのような環境下では、治療した歯が一生もつことはほぼありません。歯科治療の方法にもよりますが、5～10年で再治療が必要になるという研究データもあります。

例えば、小さなむし歯を削ってプラスチックの詰め物を入れたとしても、時間がたつと隙間から再びむし歯になることがあります。その場合、次はより大きく削って銀の詰め物を入れま

す。さらに進行すると、神経を取り除き、大きなかぶせ物が必要になり、最終的には歯の根の病気が破折などによって抜歯に至ります。

このように、一度治療を受けた歯は、治療を重ねるごとに抜歯へと近づいていきます。だからこそ、大切なのは「治療をしないでいい状態」つまりむし歯を作らないことです。健康な歯を守るには、予防こそ最も重要なのです。

かかりつけ歯科医院を持ち、むし歯にならないように、むし歯になつても早期発見で最小限の治療で済むようにしましょう。

■第3水曜日掲載

令和7年5月21日（水曜日）

歯の神経の治療 高精度に

歯の長寿学

県歯科医師会コラム



361

安里啓

広栄歯科（浦添市）

「歯の神経の治療」と聞くとどのようなイメージを持ちますか？

治療の際に「神経を抜きます」と説明すると「歯を抜くのですか？」と質問されることがあります。歯の神経の治療とは「歯は抜かず歯を残す治療」です。虫歯が深くなり神経に到達すると、細菌により神経が炎症を起こします。主な症状は温かいものがしみる、何もなくても痛いなどです。神経の炎症が治まらない場合に神経を取る治療（抜髄）が必要になります。歯の中には根管という細い管があり、その中に神経と血管が通っています。抜髄は根管内の細菌感染を起こした神経を除去し、細菌を限りなく減らして歯を保存することを目的としています。

根管治療は家の建築でいう「基礎工事」です。立派な建物でも基礎工事が

マイクロスコープ導入

きちんとできていないと家（歯）は長持ちしません。根管治療は歯の部位や形態により難易度が大きく異なります。前歯は歯根が一本の単純な形態のため治療しやすいのに対し、奥歯は歯根と根管が複数あり、根管の入り口や出口が複数に分かれている場合は迷路のようです。また、奥歯は光が届きにくく、直径1ミリ前後の神経の入り口（根管口）を探し、肉眼では見ることのできない根管内をきれいにする処置はかなり難易度が高くなります。

そこでマイクロスコープという治療用顕微鏡を用い、根管治療をより高精度に行う治療法があります。マイクロスコープは視野を約20倍まで拡大でき、明るく照射可能なため、肉眼では観察できない細い根管口や根管内の溝を観察しながら処置できます。その結果治療の成功率が格段に向上します。マイクロスコープにより精密な治療が可能となり、従来の治療に比べて治療後の歯の寿命を延ばすことができると言えます。

根管治療の場合、マイクロスコープを導入している歯科医院を探してみることも選択肢の一つと考えます。

■第3水曜日掲載

令和7年6月18日（水曜日）

新聞歯科コラム 沖縄タイムス 編

咀嚼に影響 肥満の原因に

県歯科医師会コラム



歯の長寿学



362

上地栄作

えいさく 歯科医院 那覇市

歯を失う主な原因は歯周病(40%)、虫歯(30%)、歯の破折(20%)で、若いうちは虫歯で歯を失う割合が高く、中年以降になると歯周病で失う割合が高くなります。

若いうちの歯茎は抵抗力が高いため歯周病になりにくく、虫歯がひどくなると歯が崩壊して抜歯に至るようです。

1本の歯を失うと、残っている歯に過度な負担をかけたり、かみ合わせが変わりかむ位置が不安定になり、顎関節症を引き起こす要因にもなります。

また、歯は上下左右の歯に接触しながらその場所を維持しており、隣の歯が失ったスペースを埋めようとして傾いてきたり、上の歯が下に降りてくる現象(挺出)が起こり、下の歯茎をかんで痛んだり、さらに、上下の歯が緩衝し合って顎の自由な動きを制限し

歯を失うとどうなる？

てしまいます。

特に奥歯を失うと十分な咀嚼ができず、食事の量が増えて肥満の原因にもなります。そして、かむ回数も少なくなれば唾液の分泌量が減り、口の中を衛生的に保つ事も難しくなり、食物の消化吸収にも時間がかかり、消化不良や胃腸の負担が増えてしまいます。さて、歯はどこから失うのでしょうか？

初めに、下の奥歯から失う傾向が強くなり、小臼歯へと移っていきます。次に上の奥歯から前歯へと移動し、その前歯に下の前歯の突き上げる力が働いて前歯の揺れ(動揺)が起きます。その結果、上の前歯は前方に傾き、いわゆる「出っ歯」の口元になり、もともと揺れが大きくなると、歯が抜け落ち1本もない状態になります。この状況は他の部位においても同様で、上下どちらかの歯を失うと、他の歯がかむ力に耐えきれず少しずつ揺れが大きくなり、抜歯に至ってしまいます。そうやって歯を失っていくわけです。

このような連鎖を止めるためには、早期に歯科医院へ相談するなどして、できるだけ早く対策を講じなければなりません。

第3水曜日掲載

令和7年7月16日(水曜日)

地方紙だより

八重山毎日新聞

デンタルフェアへ行こう

～親子で楽しくお口の健康を育もう～

沖縄県歯科衛生士会八重山支部歯科衛生士

大濱 佳織

「ハミカキしな〜、ち。歯科衛生士して、い〜今日も聞〜える、た〜さんの親に指導、ママやパパの声、をし〜ましたが、自、身が親になり実感した、子さんの元気な笑顔、を、るものでした。泣き喚、作〜るための重要なミッ、シヨーン」飯をい、き、逃げ回り、口を開、しく食べ、楽しくお、しゃべりするた〜大、事なのがお口の健、康です。

歯磨きは、乳歯生、え始めたらスタートし、ます。しかし、一筋縄、ではいかない子ども、は、慣れてきた

「歯と口の健康週間」

「リレーエッセー②」

こで登場するのが「あ、いうべ体操」です。

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

あいうべ体操は、動務先でなく、石、

7

2025年(令和7年) 6月6日(金曜日)

「行政医として、母親として」

沖縄県保健医療介護部八重山保健所健康推進班班長(医師)

竹本 のぞみ



今年も「歯と口の健康週間」の時期になりました。昨年初めて、歯と口の健康の啓発の

一環として新聞投稿を、経緯し、周りの人から記事を読んだと温かいお言葉を頂きました。昨年度は、私自身が糖尿病専門医という

「歯と口の健康週間」

「リレーエッセー③」

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

「歯が無くても健康だ、という考えも聞

八重山毎日新聞 令和7年6月5日(木曜日)

八重山毎日新聞 令和7年6月6日(金曜日)

地方紙だより

八重山毎日新聞

「歯と口の健康週間について」

石垣市福祉部子ども未来局子育て支援課課長

新良 卓也

皆さんは歯と口の健康に自信がありますか？

残念なことに、沖縄県は12歳児における永久歯のむし歯数が全国ワーストとのこと

丈夫な体の基礎づくりです。さて、標語にありまして、すくに幼少期の歯の健康は、将来の健康を左右する重要な基礎です。子どもたちの歯の健康は、単に虫歯を防ぐことだけではなく、全身の健康や成長にも大きな影響を与えます。乳歯は、食事を取るための基本的な役割を果たすだけでなく、永久歯が正しく生えるためのガイドとしても機能します。乳歯が健康であることは、子どもの健康であることは、子どもたちがしっかりと

「歯と口の健康週間」

リレーエッセー⑥

さらに、地域社会全体で、子どもたちの歯と口の健康を支える取り組みも重要です。家庭以外でも、保育所や幼稚園、こども園、小学校、地域学習会などで栄養バランスの取れた食事や歯のケアに関する教育活動を通じて、子ども自身が自分の歯を大切にすることを意識を高めることができます。

子どもたちの歯と口の健康は、家庭や地域社会全体で支え合うことが必要です。歯と口の健康週間を契機に、大人が子どもたちを正しい知識と習慣を伝え、共に健康な未来を築いていくことが求められています。子どもたちが笑顔で健やかに成長していけるように、私たち一人一人ができることから始めていきたいと思います。

八重山毎日新聞 令和7年6月10日(火曜日)

「歯科医院のない島で育つ健やかな歯」

八重山地区養護教諭研究会 与那国町立久部良小学校養護教諭

仲村 愛里

令和6年度、私は初任の養護教諭として与那国町立久部良小学校に赴任しました。赴任前に「与那国町には歯科医院が無い」と聞いています。歯科医院が無い不利な環境にもかかわらず、なぜむし歯が少なくないのか。その理由を探ると、この島ならではの「連携の結果は、健全歯が約7割、治療完了者約1た。

「歯と口の健康週間」

リレーエッセー⑦

まず、家庭の歯と口の健康に対する意識の高さです。昨年度の学校保健委員会で歯科検診の結果を示し、保護者の参加者に家庭での取り組みを伺うと、「毎日仕上げ磨きをしている」「歯科医院が無いから絶対にむし歯を作らないよう強く言い聞かせている」との声がありました。歯科医院がない分、家庭での予防意識が非常に高く、保護者の責任感を感じました。

次に学校の取り組みです。本校では昔から給食後に「歯みがきの時間」が時間割に設けられ、校内放送で歯みがきの歌を流し、児童も教職員も熱心に歯を磨いています。この習慣が子どもたちの口腔衛生意識を育み、日々の積み重ねが予防効果を生んでいると感じます。

さらに行政のサポートも重要です。与那国町では歯科治療の渡航費用助成制度があり、今年4回、石垣島や沖縄本島の交通費を支援しています。この助成により、通院の金銭的な壁が低くなり、必要な治療につながっていると感じます。

与那国町の子どもたちの歯と口の健康は、決して偶然の産物ではありません。家庭、学校、地域、それぞれの立場の大人たちが、子どもたちの健やかな成長を願い、協力し合うことで、この素晴らしい現状が築かれているのだと強く感じています。

八重山毎日新聞 令和7年6月11日(水曜日)

地方紙だより



**図画・ポスター
上位入賞者表彰
歯・口の健康コンクール**
2025年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（県歯科医師会主催）の表彰式が22日、那覇市泉崎の県庁1階県民ホールで開かれた。図画と標語ポスターの上位8点の入賞者を表彰した写真。

最優秀賞となる県知事賞には、友利璃良（りおら）さん（鏡原小3年）、渡口奈季さん（北谷小5年）、與那覇拓海さん（西辺中2年）の作品が選ばれた。標語の部特別賞の永野鈴心寧さん（室川小6年）の作品を入れた計4点が全国コンクールに出品される。コンクールは38回目。県内の小、中、特別支援学校の児童生徒から計573点の応募があった。仕上げ磨きをする家族に感謝するポスターで県知事賞に入賞した友利さんは「明るい笑顔で、優しい色を使った作品にした。歯磨きをして健康な歯を目指したい」と語った。そのほかの入賞者は次の通り。（敬称略）

【教育長賞】又吉新（屋良小6年）【学校保健会長賞】宮城絢妃（長田小6年）【歯科医師会長賞】新屋敷幸佑（勝連小3年）、運天夢絆（長田小6年）

（南彰）

琉球新報 令和7年7月23日（水曜日）



歯や口の健康に関する図画・ポスターで入賞した子どもたちと関係者。22日、県庁

友利さんらに県知事賞 歯・口の健康図画コン

第38回歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（主催・県歯科医師会）の表彰式が22日、那覇市の県庁1階県民ホールであった。最優秀賞に当たる県知事賞に宮古島市立鏡原小3年の友利璃良さん、北谷町立北谷小5年の渡口奈季さん、宮古島市立西辺中2年の與那覇拓海さんが輝いた。入賞作品は25日まで同ホールで展示される。

県内の小中高、特別支援学校の計

101校から573点の応募があった。與那覇さんは「80歳まで20本以上の歯を保ちたいとの思いを込めて描いた。賞を取れるとは思わなかったののでうれしい」と笑顔を見せた。

他の受賞者は次の通り。（敬称略）

県教育長賞＝又吉新（嘉手納町立屋良小6年）▽県学校保健会長賞＝宮城絢妃（宜野湾市立長田小6年）▽県歯科医師会長賞＝新屋敷幸佑（うるま市立勝連小3年）運天夢絆（宜野湾市立長田小6年）▽標語の部特別賞＝永野鈴心寧（沖縄市立室川小6年）

沖縄タイムス 令和7年7月24日（木曜日）

地方紙だより

琉球新報 2025年8月1日

歯科診療中、元氣な高齢者を診ると、ついついその秘訣を聞いてみようと思う。

精神科医の和田秀樹先生も、著書の中で健康長寿について、どういふ人をお手本にすれば良いかというところ、80代の「現実に年齢を感じさせない若々しい人たち」だと述べている。私も職場で80代の高齢者から長寿の秘訣を教わっている。

本人承諾の下、記したい。当時87



歳の女性Cさんを、常に若々しく感じる。歯も20本以上あるが、他の高齢者とは違う「打てば響く」勘の良さがある。

私はCさんに、健康のため何かやっているか、質問をした。すると、「何もやってないわよ！」と強い口調で答えた。「昔は花や踊りを習ったけど、師範

論壇

玉城 斉

長寿の秘訣はマンガ

喜怒哀楽 最高の脳トレに

れるのだ。特にアクションマンガは、コマとコマがつながらない。考え込んでしまう。読むのも面倒くさくなる。

「『〇〇ピース』は面白いから今でも読み続けているけど、『△△の刃』は面白くないから3巻でやめたわ」。後者は女性ファンも多い人気マンガだが、

を指していないから全部やめたわ」とのこと。問い続けると「マンガは読んでいるけど」と、ポロツと言った。

「80代でマンガに信じられない」というのが実感だった。私も若い頃は好きなマンガを読んでいたが、いつからか読まなくなった。読んだ後、妙にくたび

80代の乙女心には響かなかったようだ。さらに、マンガとアニメのどちらが好きか聞いた。すると「マンガに決まっている。アニメは作り過ぎよ」。その一言で、言葉が出なくなった。

Cさんの頭の中では、コマとコマが瞬時につながり、白黒の画面も彩り鮮やかに展開され、そして内容には喜怒哀楽があり、時には感動のあまり、涙で文字が読めなくなることもあるだろう。最高の脳トレになっているのではないか。

テレビを見過ぎると、思考が止まり、魂が奪われると言った人がいるが、完璧過ぎる画面は、脳が活躍する場が奪われるのかもしれない。

84歳で現役の麻生太郎元総理も大のマンガ好きで、移動する車の後部座席には常にマンガ雑誌が積み上げられていた。

脳を若く保つため、マンガは「読むもの」ではなく、「読む続けるもの」という結論に至った。

91歳になったCさんは、歩きはゆっくりだが、相変わらず元気である。ある日、診療を終え待合室に1人でいると、老婦人が入ってきた。「あなたどうしたの、こんなに老け込んで」。年下の知人らしい。しばらく会話した後、老婦人は診療室へ。Cさんは玄関に向かい、出る間際に「老人と付き合うと、年寄り臭くなるからね」と言い残して出ていった。(県歯科医師会学校歯科担当理事、65歳)

理事会報告

■ 令和7年度 第3回定時理事会 令和7年5月13日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員入会（第1・3種）について
2. 沖縄県歯科医師会疾病共済金給付申請について

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会委員の推薦に関する件
- 第2号議案 全国歯科医師国民健康保険組合沖縄県支部役員の選出に関する件
- 第3号議案 「天皇陛下奉迎沖縄県実行委員会」の奉迎委員就任に関する件
- 第4号議案 令和7年度（第1回）臨時代議員会開催日に関する件
- 第5号議案 令和7年度沖縄産業保健総合支援センター運営協議会委員就任に関する件
- 第6号議案 沖縄県社会保険診療報酬請求書審査委員会の委員推薦に関する件
- 第7号議案 ヤシマ工業(株)安全大会講演依頼に関する件
- 第8号議案 衛生士学校事務職員の採用に関する件

III. 協議事項

特になし

IV. 報告事項

1. 第1回沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・第1回沖縄県医師会医療事故調査支援会議（合同会議）出席報告
2. 令和7年度沖縄平和賞委員会総会出席報告
3. 令和7年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会出席報告
4. 沖縄県議会陳情の処理結果について
5. 令和7年度鹿児島県歯科医師会生涯研修セミナーの参加について（周知依頼）
6. 令和7年度全国共通がん医科歯科連携講習会実施要綱及びFAQ等について
7. 令和7年度日歯生涯研修セミナーの実施にあたって
8. 歯科医療機関経営における物価・賃金高騰の影響調査の実施について
9. 「疑義解釈資料の送付について（その24）」について
10. 令和6年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて
11. 「選定療養として導入すべき事例等」に関するパブリックコメントの募集について
12. セーフティネット保証5号に係る業況調査協力について
13. MCDBによる医療法人の経営情報の電子的報告について
14. 令和7年度文部科学省補助事業日本学校保健会主催講習会・研修会開催の周知について
15. 「特定保険医療材料料（使用歯科材料料）の算定について」一部改正について
16. 令和6年度心身障害児（者）歯科診療事業補助金確定通知について
17. 令和6年度沖縄県障害者歯科地域協力医等養成研修事業補助金確定通知について
18. 令和6年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金確定通知について
19. 令和6年度沖縄県北部及び離島地域の歯科衛生士確保事業業務委託料確定通知について
20. 令和6年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業「歯科医療従事者技術向上支援事業」補助金確定通知について
21. 令和7年度JDAT標準研修会（旧・災害歯科保健医療体制研修会）の実施について
22. 裁定審議会委員及び選挙管理委員会委員の選出（南部地区歯科医師会）について

- 23. オンライン資格確認の導入のための医療機関・薬局への財政支援について
- 24. 委員会
 - ①広報 ②学術 ③医療管理・医業経営

V. その他

- 1. センター診療実績について
- 2. 会計ソフトについて
- 3. 第66回一般社団法人日本歯科医療管理学会総会・学術大会共催依頼について
- 4. 令和7年度日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会について
- 5. オーディーエーの件について
- 6. 局長職について

■ 令和7年度 第4回定時理事会 令和7年5月27日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

- 1. 沖縄県歯科医師会会員入会（第3種）について
- 2. 産前産後休暇及び育児休暇について

II. 議事事項

- 第1号議案 医療機器の廃棄処分に関する件
- 第2号議案 NDL(株)セミナー開催提案に関する件
- 第3号議案 (公社)沖縄県小児保健協会企画運営委員会委員の推薦に関する件
- 第4号議案 沖縄県薬事審議会委員の推薦に関する件
- 第5号議案 「天皇陛下の沖縄ご訪問をお迎えする提灯奉迎の集い」への協賛、参加・動員に関する件
- 第6号議案 令和8年春・秋の叙勲・褒章候補者の推薦に関する件
- 第7号議案 令和7年度九地連会員表彰候補者の推薦に関する件
- 第8号議案 令和7年度学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に関する被表彰候補者の推薦に関する件
- 第9号議案 令和6年度会計決算認定に関する件
- 第10号議案 令和6年度会計剰余金処分に関する件
- 第11号議案 令和6年度会計書類（附属明細書）並びに財産目録に関する件
- 第12号議案 歯科技工士の人材確保対策事業の運営事務局の設置に関する件
- 第13号議案 金城課長の役職名に関する件
- 第14号議案 保険業務の代理店選定に関する件

III. 協議事項

特になし

IV. 報告事項

- 1. 第1回沖縄県立学校保健会理事会出席報告
- 2. 第53回産業歯科医研修会の開催について
- 3. 社会保険診療報酬の所得計算の特例措置（四段階税制）の存続のための調査協力について
- 4. デンタルフェア中部への案内について
- 5. 北九州事業対象地域（西日本）における高濃度PCB廃棄物の登録の再開について
- 6. 令和7年度歯牙鑑定謝金について
- 7. 「使用上の注意」の改訂について
- 8. 第53回（令和7年度）労働安全・労働衛生コンサルタント試験日程等の機関紙等への掲載について
- 9. 令和7年度歯科医療提供体制構築支援事業実施団体の公募について
- 10. 法人就業規則等の提供依頼について

11. 産業歯科保健講習会開催の案内について
12. 健康おきなわ21（第3次）ロジックモデル（素案）に係る意見について（照会）
13. 令和6年度日歯年金保険適用利率について
14. 委員会

①センター 4月・5月	②地域保健	③保険	④衛生士学校
⑤学校歯科	⑥医療管理・医業経営	⑦学術	⑧調査広報

V. その他

1. センター診療実績について
2. 沖縄県障害福祉課 令和8年度事業予算打合せについて
3. 新聞論壇投稿について
4. 同窓会長への会員名簿の送付について
5. 歯科技工士養成所設立のための特別委員会について

■ 令和7年度 第5回定時理事会 令和7年6月10日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会疾病共済金給付申請について
2. 沖縄県歯科医師会廃失共済金給付申請について
3. 沖縄県歯科医師会会員（1種）退会について

II. 議事事項

- 第1号議案 会費減額申請に関する件
- 第2号議案 「第16回中国四国地方H I V陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議」講師派遣に関する件
- 第3号議案 健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」講師（宮古島市）派遣に関する件
- 第4号議案 令和7年度沖縄県歯科医師認知症対応力向上研修の実施に関する件
- 第5号議案 日本歯科医学会評議員（地区推薦）及び予備評議員の推薦に関する件
- 第6号議案 令和7年度沖縄県学校保健会役員の就任に関する件
- 第7号議案 新入会員へのオリエンテーションに関する件

III. 協議事項

1. 株S・H・C協定書について
2. 新入会員へのオリエンテーションについて

IV. 報告事項

1. 急性呼吸器感染症（A R I）サーベイランスの開始に伴うインフルエンザ等の注意報・警報発令等基準値廃止への対応について
2. 「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」について
3. 第25回医療経済実態調査の協力（周知依頼）について
4. 医療機器の保険適用について
5. 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について
6. 令和7年度「災害時外国人支援サポーター養成講座」開催周知の協力依頼について
7. アモキシシリンカプセル・細粒「使用上の注意」改訂について
8. 「沖縄県血液等曝露後H I V感染予防薬整備事業」周知について
9. 財政制度等審議会「激動の世界を見据えたあるべき財政運営」（令和7年5月）に対する日本歯科医師会の見解について
10. 製品供給に関するお知らせとお願いについて
11. 委員会

①地域保健

V. その他

1. センター診療実績について
2. 九州各県歯科医師会会長並びに九地連協議会開催について
3. 災害時歯科保健診療体制整備事業の内定について

■ 令和7年度 第1回臨時理事会 令和7年6月22日(日) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

特になし

II. 議事事項

特になし

III. 協議事項

- 第1号議案 代表理事（会長）の選定に関する件
- 第2号議案 副会長、専務理事、常務理事及び理事の業務分担に関する件
- 第3号議案 役員の順位の決定に関する件
- 第4号議案 理事会・常務理事会の開催頻度に関する件
- 第5号議案 公益社団法人日本学校歯科医会代議員・予備代議員の選任に関する件

IV. 報告事項

特になし

V. その他

特になし

■ 令和7年度 第1回定時理事会(通算6回) 令和7年6月24日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

特になし

II. 議事事項

- 第1号議案 令和7年度沖縄県「愛の血液助け合い運動」及び令和8年「はたちの献血」キャンペーンに係る後援名義使用に関する件
- 第2号議案 沖縄県警察鑑識専科講師派遣に関する件
- 第3号議案 第25回沖縄県健康教育研究大会の後援に関する件
- 第4号議案 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター地域医療支援病院運営委員会委員の委嘱に関する件
- 第5号議案 沖縄海邦銀行健康保険組合歯科健診業務委託契約書に関する件
- 第6号議案 沖縄銀行健康保険組合歯科健診業務委託契約書に関する件
- 第7号議案 「第16回中国四国地方H I V陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議」講師派遣に関する件
- 第8号議案 厚生労働省所管に係る令和8年春の叙勲及び褒章候補者の推薦に関する件
- 第9号議案 日本歯科医師会各種委員会委員の推薦に関する件
- 第10号議案 令和7年度沖縄県歯と口の健康づくり推進事業契約に関する件
- 第11号議案 令和7年度障害児者歯科保健対策支援事業契約に関する件
- 第12号議案 第68回沖縄県社会福祉大会の協賛依頼に関する件
- 第13号議案 全身麻酔時の救急薬剤導入に関する件

第14号議案 歯科技工士養成所設立のための特別委員会の設置に関する件

Ⅲ. 協議事項

1. 地域保健委員会委員の増員について

Ⅳ. 報告事項

1. 第2回沖縄県立学校保健会理事会出席報告
2. 令和7年度医療情報セキュリティ研修の実施について
3. 「第30回口腔保健シンポジウム」開催案内について
4. 保健師等専門職のI H E A T. J P登録協力依頼について
5. 第53回産業医学講習会の開催について
6. 70歳雇用推進プランナー及び高年齢者雇用アドバイザーの訪問について
7. 日歯社保情報ネットワーク担当役員の確認について
8. 厚生労働省九州厚生局指導監査及び各県事務所の窓口相談及び電話での照会・相談に係る時間変更について
9. 令和7年度J D A Tアドバンス研修会の実施について
10. 日本糖尿病協会「登録歯科医」制度資格更新および同制度への加入促進について
11. 会員管理システムの更改について
12. 「歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム（例）令和7年度版」について
12. 委員会
 - ①学校歯科
 - ②衛生士学校
 - ③センター
 - ④医療管理・医業経営

Ⅴ. その他

1. センター診療実績について
2. 班会費引き去りに伴う情報共有依頼について
3. 事務局パソコン見積りにについて
4. 令和7年度第1回九地連協議会における提出協議題について
5. オーディーエー業務移管に関する損保ジャパンの検討事項について
6. 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金活動（薬物乱用防止活動を支援するための募金運動）に対する協力について
7. 職員の採用について

■ 令和7年度 第2回定時理事会(通算7回) 令和7年7月8日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

Ⅰ. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員入会（第1種・第3種）について

Ⅱ. 議事事項

- 第1号議案 公益目的支出計画変更認可申請に関する件
 第2号議案 「沖縄県歯科保健功労者表彰」候補者推薦に関する件
 第3号議案 舞台パンフレット広告協賛依頼に関する件

Ⅲ. 協議事項

特になし

Ⅳ. 報告事項

1. 令和7年度賃金構造基本統計調査の実施に係る協力依頼について
2. 「令和7年度A C C e-learning」受講案内について
3. 歯科身元確認研修会開催について

4. 地域医療介護総合確保基金に係るアンケートについて
5. 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」の一部訂正について
6. 医療機器の保険適用について
7. 令和7年度日本学校保健会主催セミナー及び講習会開催の周知依頼について
8. 令和7年度文部科学省補助事業日本学校保健会主催研修及び講習開催周知依頼について
9. 一般健康診断問診票を活用した歯科受診勧奨について
10. 令和7年度日本歯科医師会会長表彰候補者の審査結果について
11. がん教育教材活用研修会及びがん教育外部講師活用研修会の開催について
12. 医療機関・薬局の窓口を訪れる患者に対する資格確認方法等に関するセミナー開催について
13. 令和7年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会の開催について
14. 委員会
 - ①学 術 ②保 険 ③広 報

V. その他

1. センター診療実績について
2. 職員の採用について
3. 代議員会質問の照会「生活保護受給者の治療に関わる書類郵送についての情報提供について」
4. 令和7年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会提出協議題について
5. 【沖縄歯科衛生士学校】新職員のデスク発注の件について

■ 令和7年度 第3回定時理事会(通算8回) 令和7年7月22日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. (株)S・H・Cへの代理店移行について
2. 沖縄県歯科医師会会員入会（第2種）について
3. 沖縄県歯科医師会会員退会（第1種）について
4. 沖縄県歯科医師会死亡共済金給付申請について
5. 第14回子どもの禁煙研究会の後援について

II. 議事事項

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 令和7年度沖縄県後期高齢者医療広域連合歯科健診業務委託契約書に関する件 |
| 第2号議案 | 育児短時間勤務申し出に関する件 |
| 第3号議案 | 令和7年度障害児者歯科保健対策支援事業契約に関する件 |
| 第4号議案 | 令和7年度訪問歯科診療推進のための多職種連携事業契約に関する件 |
| 第5号議案 | 歯科技工士養成所設立に関する件 |
| 第6号議案 | 臨時代議員会上程事項に関する件 |
| 第7号議案 | ニューレジリエンスフォーラム「沖縄県大会」呼びかけ人就任に関する件 |
| 第8号議案 | 「沖縄歯科衛生士学校の学則（学科課程）、校舎各室の用途及び面積、実習施設の改定」に関する件 |
| 第9号議案 | 医療管理医業経営アドバイザー推薦・継続に関する件 |
| 第10号議案 | 令和7年度歯科身元確認研修会に関する件 |
| 第11号議案 | 南部地区医療管理医業経営委員の後任推薦に関する件 |
| 第12号議案 | 定款運用規程改訂に関する件 |
| 第13号議案 | 有害な業務に係る歯科健診の健診料に関する件 |

III. 協議事項

1. 本会職員に関する給与規程の周知及び設置に関して
2. 沖縄衛生士学校職員の職務に関して

3. 地域保健委員会委員の増員について

IV. 報告事項

1. 沖縄こどもの未来県民会議 令和7年度総会出席報告
2. 令和7年度第1回九州各県歯科医師会事務局長連絡会
3. 電子処方箋の利用状況に関するアンケート回答（協力依頼）について
4. 歯科外来・在宅ベースアップ評価料の算定実績の提供について
5. 令和7年度歯科医療関係者感染者予防講習会の実施について
6. 製品供給に関するお知らせとお願いについて
7. 令和7年度日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会受講審査の結果について
8. 「Peace&Democracy国際協力研修in東京&カンボジア」参加学生募集に係る周知協力依頼について
9. セーフティネット保証5号に係る業況調査への協力について
10. 「第89回全国学校歯科保健研究大会」ポスター発表募集について
11. 委員会

①地域保健 ②学校歯科 ③衛生士学校

V. その他

1. センター診療実績について
2. 参議院議員選挙の周知協力依頼について
3. 職員の退職について
4. 令和7年度第1回九地連協議会協議題について
5. （沖縄歯科衛生士学校）事務職員募集について
6. 沖縄刑務所の入所者への保健指導について
7. 令和7年度「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会提出協議題について
8. 令和7年度第1回九州各県専務理事会提出協議題について
9. 沖縄県との連絡協議会日程について

編集後記

ここまで(後記ページまで)、丁寧に広報誌めくって頂き感謝しています。

「ペーパーレス化」という時流の変化の中での存在ではありますが、個人的には「紙」大好き人間です。離島理事としての2年間、会員の皆さまの執筆・動向を通して県歯科医師会のもつ特徴や魅力が伝われば・・・と広報委員・事務局一丸となって取り組んでまいりました。

HP改修のミッションも無事終わることができました。(改修は歯科医師会HPが存在する限り永遠に続く終わりのないミッションではありません)

皆さまの歯科医師人生を振り返るとき、広報誌をパラパラとめくりながら思い出が甦るような1ページに出会えたら・・・と願います。

「たかが広報誌、されど広報誌」

感謝を込めて・・・和

KAZUデンタルクリニック 平良 和枝

沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。

内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。

報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
2. 文字数：800字
3. 掲載日：第3水曜日
4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
5. 原稿料：なし

*誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思っております。

*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。

*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことがございます。

*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。

また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：平良 和枝、上地 栄作、上原かな、島袋 亮、砂川 和徳、張江 昌宏

令和7年3号

印刷日：令和7年8月13日

発行日：令和7年8月20日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会

☎098 (996) 3561

<http://www.okisi.org/>

編集人：平良 和枝

印刷：(株)ちとせ印刷

E-mail chitose.f@gamma.ocn.ne.jp

8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

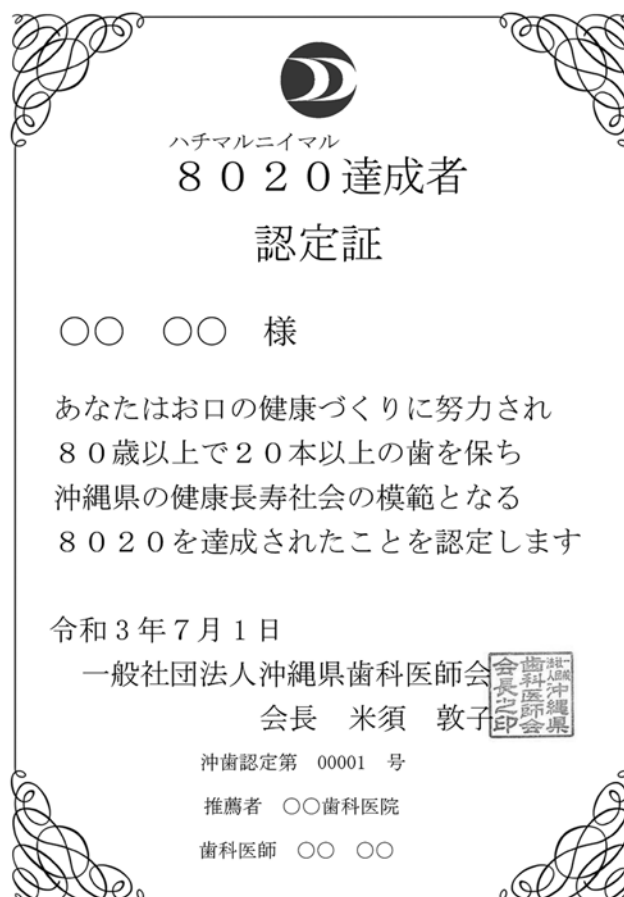
つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

見本



連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： _____

氏 名： _____

令和 年 月 日

以下の通り推薦申し上げます。

8020達成者推薦書		
氏 名	ふりがな	性 別
		男 ・ 女
生年月日（年齢）	明 ・ 大 ・ 昭 年 月 日 （ ） 歳	
ご本人連絡先	住 所	〒（ - ）
	電話番号	
現 在 歯 数	本	
自 立 状 態 <small>（あてはまるものに○）</small>	① 自力歩行可 ② 介助有りで歩行可 ③ 車いす ④ 外出困難 ⑤ その他（ ）	
補 綴 状 態 <small>（あてはまるものに○）</small>	① 不 要 ② 良 好 ③ 要 改 善	
特 記 事 項		

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください
(FAX : 098-996-3562)

会員動向

会員：令和7年7月1日 現在508人

内 訳

種 別	男	女	計
1 種 会 員	297	42	339
2 種 会 員	18	6	24
3 種 会 員	35	26	61
4 種 会 員	2	0	2
終 身 会 員	72	10	82
計	424	84	508

入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	5	0	5
退 会 者	3	0	3
計	2	0	2

正会員地区別

地 区	男	女	計
北 部 地 区	24	1	25
中 部 地 区	117	16	133
南 部 地 区	217	34	251
宮 古 地 区	15	7	22
八 重 山 地 区	14	0	14
計	387	58	445

入・退会状況（3種・4種準会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	3	0	3
退 会 者	0	0	0
計	3	0	3

退会会員（3名）

氏 名	日 付	理 由
田久保 康 之	令和7年4月30日	一身上の都合（中部地区）第1種会員
池 村 浩 明	令和7年5月28日	廃疾退会（宮古地区）第1種会員
友 利 秀 彰	令和7年6月9日	ご逝去（中部地区）第1種会員

正会員動静（新入会員 5 名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就業所所在地	出 身 校	卒業年月	会員種別	入会日
仲 里 尚 倫	H1.10.7	なかざとファミリー歯科口腔クリニック	那覇市大道45	九州歯科大学	H27.3	1種会員	R7.5.1
護得久 朝 滋	H1.2.21	新里歯科・矯正歯科	那覇市壺屋2-15-14	北海道医療大学 歯 学 部	R2.3	1種会員	R7.5.1
池 端 幸 司	S42.3.26	池端歯科医院	名護市宮里1-28-8 南西ビル3F	日本歯科大学 新 潟 歯 学 部	H3.3	1種会員	R7.6.1
岡 本 泰 信	S52.2.7	医療法人ふたば ふたば歯科クリニック	うるま市高洲1029-3 上ハラマートビル2F	長崎大学歯学部	H14.3	1種会員	R7.7.1
小 渡 茂 樹	S55.2.15	（医）明歯会 みなみ歯科医院	南風原町宮平248-5	日 本 大 学 松 戸 歯 学 部	H21.3	2種会員	R7.7.1

準会員動静（新入会員 3 名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就業所所在地	出 身 校	卒業年月	会員種別	入会日
小 山 宏 樹	S46.3.6	沖縄協同病院歯科口腔外科	那覇市古波蔵4-10-55	北海道医療大学 歯 学 学 部	H7.3	3種会員	R7.5.1
寺 元 平	S57.7.29	医療法人健生会上原歯科クリニック	浦添市仲間3-23-2	九州歯科大学	H21.3	3種会員	R7.5.1
古 堅 育 男	H6.3.16	おおみ歯科医院	豊見城市豊見城673-5	日 本 大 学 松 戸 歯 学 部	R3.3	3種会員	R7.7.1

令和7年度 全国歯科医師国民健康保険組合保険料並びに保健事業等について

平素より本組合の運営にあたり格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和7年度の保険料及び保険給付につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

今年度より、保険料の大幅な変更がありましたのでご確認をお願いいたします。

また、健診に対する助成金並びに各種手当金を設定しております。健康増進のため、積極的にご活用くださいますようお願いいたします。

【保険料】

○均等割保険料／月額

組合員種別	基礎 賦課額	後期高齢者の 1種組合員 支援金	合計額 (40歳未満 65歳以上)	介護納付額 (40～64歳)	合計額 (40～64歳)
1種組合員	11,000	4,300	15,300	4,200	19,500
2種組合員	16,400	6,400	22,800	6,300	29,100
3種組合員	11,000	4,300	15,300	4,200	19,500
家族 (1種・2種・3種・後期 高齢者の1種組合員)	7,700	3,000	10,700	2,900	13,600

- ・家族は、組合員と同一世帯が条件。就学等の理由で住所変更する場合は、届出により継続加入が可能。
- ・歯科医療機関に勤務する歯科医師(非常勤を含む)は組合員本人となり、家族としての加入は不可。

○後期高齢者の1種組合員（75歳以上継続希望者）

月額 5,000円

○所得割保険料／年額（開設管理者である1種・後期高齢者の1種組合員より賦課）

組合員種別	基礎 賦課額	後期高齢者 支援金	合計額 (40歳未満 65歳以上)	介護納付額 (40～64歳)	合計額 (40～64歳)
1種組合員 後期高齢者の 1種組合員	前年診療報酬 4.8/1,000 上限 480,000円	前年診療報酬 1.9/1,000 上限 190,000円	前年診療報酬 6.7/1,000 上限 670,000円	前年診療報酬 1.2/1,000 上限 120,000円	前年診療報酬 7.9/1,000 上限 790,000円

- ・前年診療報酬合算額の上限は1億円、下限額は300万円とする。
- ・矯正標榜の開設管理者からは上限額を賦課する。但し、昨年の医業収入額が1億円に満たない場合は変更申請が可能。
- ・後期高齢者の1種組合員の医療機関に、後期高齢者の1種組合員以外の被保険者がいない場合は所得割保険料の賦課を免除。

【保険料免除・還付金】

◎3種女性組合員の一人親世帯に属する、義務教育期間の家族の保険料を免除

免除対象：1人目は後期高齢者支援金分（3,000円）、2人目以降は全額

◎出産した組合員又は家族の保険料を免除

免除対象：出産月の前月から出産月の翌々月（4ヶ月分）

◎子育て世帯の経済的負担軽減措置として、令和7年11月30日に加入している未就学児に対し、令和8年2月に1人当たり12,000円を保険料として還付

【保険給付】

対 象	給付割合	備 考
1・2・3種組合員	7割	※自己及び勤務する医療機関及び分院等での歯科診療、それに伴う調剤は給付対象外
家 族	7割	
未 就 学 者	8割	
前 期 高 齢 者	現役並み所得者 7割 一般所得者 8割	

【各種保健事業】

健診等助成金	対 象 者	助 成 額
特定健診・特定保健指導	組合員、家族（40～74歳）	健診料無料 受診者にクオカード配布
節目健診	5歳毎の組合員 節目年齢該当の1種・後期高齢者の 1種組合員の配偶者	実費（上限 30,000円）
インフルエンザ予防接種	組合員・家族	実費（上限 4,000円） （13歳未満は上限 6,000円）
がん検診助成金 胃がん1（胃内視鏡）	組合員、家族 50歳以上	実費（上限 8,900円）
胃がん2（胃部X線）	組合員、家族 40歳以上	実費（上限 6,400円）
子宮頸がん検診	組合員、家族 20歳以上	実費（上限 3,400円）
肺がん1（胸部X線）	組合員、家族 40歳以上	実費（上限 1,800円）
肺がん2（胸部X線＋喀痰）	組合員、家族 40歳以上	実費（上限 3,100円）
乳がん検診	組合員、家族 40歳以上	実費（上限 4,200円）
大腸がん検診	組合員、家族 40歳以上	実費（上限 1,300円）
歯科健診文書料・指導料	18歳以上の組合員、家族	1,000円／1人 実施した1種組合員に支給
新型コロナウイルスワクチン接種	組合員、家族	実費（上限 5,000円）

手 当 金 等	対 象 者	支 給 額 等
傷病手当金	1種組合員・後期高齢者の1種組合員	4,000円／入院1日
傷病見舞金（後期高齢者）	2・3種組合員	4,000円／入院1日 ※手当金の増額
出産育児一時金	組合員、家族	500,000円
出産手当金	産前6週から産後8週の間、 業務に服さない組合員	4,000円／1日 ※ 手当金の増額
葬祭費・死亡見舞金	1種組合員・後期高齢者の1種組合員	300,000円
	2種組合員	150,000円
	3種組合員	100,000円
	家 族	100,000円
高額療養費	組合員、家族	

令和6年12月2日より、従来の被保険者証の新規発行は終了しました。既に発行済みの被保険者証は、令和7年7月31日まで使用可能です。

令和7年8月1日からは、マイナ保険証を保有している方には「資格情報のおしらせ」、マイナ保険証を保有していない方には「資格確認書」を発行します。

各種届出やご不明な点は、支部事務所までご連絡をお願いいたします。

全国歯科医師国民健康保険組合 沖縄県支部
TEL 098-889-2288

重 要 性 分 類 III
事 務 連 絡
令 和 7 年 2 月 19 日

沖縄県歯科医師会 御中

社会保険診療報酬支払基金
沖縄審査委員会事務局

令和 7 年度における診療報酬の支払日について

平素は支払基金の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 7 年度における診療報酬の支払日については、別紙のとおり予定していますので連絡いたします。

なお、貴会傘下の保険医療機関には、請求形態（オンライン又は媒体・紙レセプト等）に応じて、「支払基金からのご案内」3 月号をオンライン請求システムに掲載、又は令和 7 年 3 月（1 月診療分）の返戻レセプト等に併せて送付することによりお知らせいたしますので、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先

社会保険診療報酬支払基金

沖縄審査委員会事務局

業務課：謝花 TEL 098-914-3905

令和7年度における診療報酬の支払予定日

納入月 ・ 支払月	診療報酬	
	保険者から基金への 納入期日	基金から医療機関への 支払日
令和7年 4月	4月21日(月)	4月22日(火)
5月	5月20日(火)	5月21日(水)
6月	6月19日(木)	6月20日(金)
7月	7月18日(金)	7月22日(火)
8月	8月20日(水)	8月21日(木)
9月	9月19日(金)	9月22日(月)
10月	10月20日(月)	10月21日(火)
11月	11月20日(木)	11月21日(金)
12月	12月19日(金)	12月22日(月)
令和8年 1月	1月20日(火)	1月21日(水)
2月	2月19日(木)	2月20日(金)
3月	3月19日(木)	3月23日(月)

沖国保連第 1342・2 号
令和 7 年 2 月 13 日

保険医療機関（保険薬局） 各位

沖縄県国民健康保険団体連合会
事務局長 大 城 博 之
（ 公 印 省 略 ）

令和 7 年度のレセプト提出締切日及び診療報酬支払日について

本会の診療報酬審査支払業務につきましては、平素より格別なる御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、みだしのことについては、請求省令により提出日は『診療翌月の 10 日まで』と規定されており、本会では審査支払業務を円滑に実施するため受付協力日及び支払日を別紙のとおりといたしました。

つきましては、受付日程への御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※本会ホームページへも掲示いたしておりますのでご確認ください。

ホームページアドレス 「<http://www.okikoku.or.jp/>」

お問合せ先

沖縄県国民健康保険団体連合会 審査課

TEL：098-863-2473

別紙

令和7年度 レセプト提出締切日及び診療報酬支払日（国保）

	レセプト受付 協力日	レセプト受付 締切日	診療報酬等の支払日
令和7年4月	9日（水）	10日（木）	21日（月）
令和7年5月	9日（金）	10日（土） *開所	20日（火）
令和7年6月	9日（月）	10日（火）	20日（金）
令和7年7月	9日（水）	10日（木）	22日（火）
令和7年8月	8日（金）	10日（日） *開所	20日（水）
令和7年9月	9日（火）	10日（水）	22日（月）
令和7年10月	9日（木）	10日（金）	20日（月）
令和7年11月	7日（金）	10日（月）	20日（木）
令和7年12月	9日（火）	10日（水）	22日（月）
令和8年1月	9日（金）	10日（土） *開所	20日（火）
令和8年2月	9日（月）	10日（火）	20日（金）
令和8年3月	9日（月）	10日（火）	23日（月）

※ レセプトの受付締切は、10日（必着）です。（請求省令により毎月10日までと定められております）

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までとなります。

※ 12月は早期提出にご協力お願いいたします。

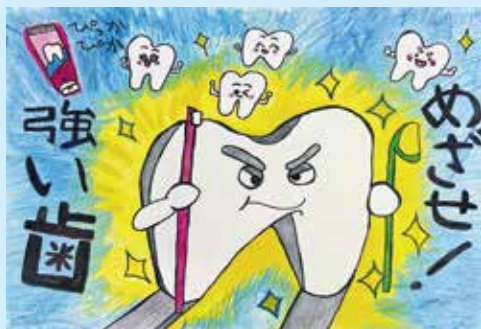
※ 令和7年8月9日（土）、11月8日（土）、11月9日（日）は、開所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1日～10日必着でお願いいたします。

お問合せ先
沖縄県国民健康保険団体連合会
TEL 098-863-2473（審査課）

沖縄県知事賞

北谷町立北谷小学校5年
渡口 奈季



宮古島市立西辺中学校2年
與那覇 拓海



宮古島市立鏡原小学校3年
友利 璃良

沖縄県学校保健会長賞



宜野湾市立長田小学校6年
宮城 絢妃

沖縄県教育長賞



嘉手納町立屋良小学校6年
又吉 新

標語の部特別賞



沖縄市立室川小学校6年
永野 鈴心寧



宜野湾市立長田小学校6年
運天 夢絆



うるま市立勝連小学校6年
新屋敷 幸佑

沖縄県歯科医師会長賞